

# 8月に小中学生教室

おおだてロボットコンソーシアム

## 人材育成へ事業計画

子どもたちにプログラミングを学ぶ環境を提供する「お



おおだてロボット人材育成コンソーシアム(会長・佐藤義晃大館商工会議所会頭)の本年度総会が16日、秋田職業能力開発短期大学校で開かれ、写真、ロボット教室開催などを盛り込んだ事業計画を確認した。

ものづくり人材の育成を目的に市内の教育、商工関係団体で組織されており、会員約20人が出席。冒頭のあいさつで佐藤会長は「産業ロボットなくして工業の発展を語ることはできない時代。ものづくりを通して未来、夢を切り開

く取り組みは非常に意義がある」などと述べた。

昨年度のロボット教室に関するアンケート結果も報告され、参加者の9割以上が「とても楽しかった」と回答。難易度についても「難しいがもっと詳しく知りたい」と思った。「レベルの高いことが学べて面白い」など前向きな声が多数集まった。

事業計画によると、8月27日に市内の小中学生を対象としたロボット教室を開催する。初級(20人)と中級(10人)に区分されており、コースごとの競技会も行う予定。このほか、大館少年少女発明クラブロボット教室(12月2日)、同クラブの青森県黒石市とのロボット交流会(来年3月2日)も計画している。